

◆第11回パンパシフィック大会(米国・アーバイン 8/18～21)

1. 選考競技会を日本選手権(辰巳・4/13～18)とする
2. 選考は、競泳競技国際大会選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
3. 編成人数はパンパシ・ルールとし、男子26名、女子26名を上限とする
4. リレーの選考は、別途考慮し選考する

◆第16回アジア大会(中国・広州 11/13～18)

*2010年度最大主要大会とし、辞退は認めない

1. 選考競技会をパンパシフィック大会(アーバイン・8/19～22)とする
但し、日本選手権優勝の選手で派遣標準記録S・Iを突破した者は自動的に選考する
2. 選考は、競泳競技国際大会選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本オリンピック委員会が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
3. 編成人数は、JOCの枠内とし、全種目にエントリーする
4. リレーの選考は、別途考慮し選考する

◆第4回ジュニアパンパシフィック大会(米国・マウイ 8/26～29)

1. 選考競技会をジャパンオープン50m(辰巳・6/4～6)とする
2. 選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり人数枠の範囲で選考する
3. 参加有資格者は、中学生及び高校生とする
平成4年4月2日～平成9年4月1日生まれ
*ジュニアパンパシフィック大会および、ジュニア世界選手権を同一レベル大会とし、両大会合わせての3回目の出場は認めない
4. 大会規則に基づき、過去にパンパシフィック・アジア大会・世界選手権・オリンピックの代表となった者以外から選考する
5. 編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
6. 編成人数は、32名とする

◆第1回ユースオリンピック(シンガポール 8/14～26)

☆大会参加の意志を事前にアンケートする

1. 選考競技会を日本選手権(辰巳・4/13～18)とする
2. 選考は、競泳競技国際大会選考方法に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本オリンピック委員会が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
3. 編成人数は、男子4名・女子4名とする。
(男子は平成4年1月1日～平成5年12月31日生まれ)
(女子は平成5年1月1日～平成6年3月31日生まれ)

◆ワールドカップ2010

(ヨーロッパシリーズ) ジュニアエリートA突破者から派遣する。編成人数は12名を上限とする
(アジアシリーズ) インターナショナル突破者で自費参加を希望する者を派遣する

◆第10回世界短水路選手権(UAE・ドバイ 12/15～19)

1. 第11回パンパシフィック選手権出場選手から希望者を派遣する。
2. 男女最大20名を上限とする
但し、1国2名を考慮し、記録の高い者から選考していく

◆ジュニア選抜遠征(日時・場所未定)

第6回オーストラリア・シドニーユースオリンピックフェスティバル(2013年・4年毎開催)

1. 選考競技会は夏季ジュニアオリンピック(辰巳・8/26～30)チャンピオンシップ区分とする
2. 選考は、日本水泳連盟選手選考委員会があたり人数枠の範囲で選考する
3. 参加有資格者は、中学生及び高校生とする
平成4年4月2日～平成9年4月1日生まれ
4. ジュニア・パンパシフィック代表以外から選考する
5. 編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
6. 編成人数は、16名とする(12名)

◆ジュニアブロック遠征(シンガポール・3月)

1. 選考は、各ブロックに一任とし、日本水泳連盟に推薦し、日本水泳連盟選手選考委員会が選考する
2. 参加有資格者は、中学生及び高校生とする
3. 編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
4. 編成人数は、40名とする(各ブロック4名 男女、中学・高校1名ずつ)